auAMレバレッジ・ハンセン・中国ファンド
（円コース／香港ドルコース）

運用報告書（全体版）

第１期

（決算日 2026年８月21日）

（作成対象期間 2025年８月22日～2026年８月21日）

受益者の皆様へ

平素より格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンドの受益証券を高位に組み入れることにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数のリターンの獲得をめざしております。加えて、香港ドルコースについては、純資産総額程度の香港ドル保有に伴うリターンの獲得をめざしております。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型／その他）	
信託期間	無期限（2025年８月22日設定）	
運用方針	auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数先物を買い建てるとともに、為替変動リスクを低減するために為替予約取引等により為替ヘッジを行います。これにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数のリターンの獲得を目指します。	
主要投資対象	ベビーファンド（円コース）	auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンドの受益証券
	ベビーファンド（香港ドルコース）	auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンドの受益証券、外国為替取引
	auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド	株価指数先物取引、国内の債券、外国為替取引
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	・分配対象額は、経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額を含みます。）および売買益（評価益を含みます。ただし、マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額を除きます。）等の全額とします。 ・原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

auアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区西神田三丁目２番１号

ホームページ　https://www.kddi-am.com/

お問い合わせ先　03-5657-7185

（受付時間 営業日の午前９時～午後５時）

〈円コース〉

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率		
(設定日)	円	円	%	%	百万円
2025年８月22日	10,000	－	－	－	3
１期(2026年８月21日)	9,913	0	△0.9	207.7	10

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。また、期中騰落率は、期末の基準価額（税引前分配金含む）を設定日の基準価額で除して算出したものです。
(注) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。
(注) 株式先物組入比率＝買建比率－売建比率です。
(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券先物比率」は、実質組入比率を記載しております。
(注) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式先物比率
		騰落率	
(設定日)	円	%	%
2025年８月22日	10,000	－	－
８月末	9,878	△ 1.2	200.7
９月末	11,235	12.4	195.6
10月末	10,879	8.8	193.5
11月末	10,568	5.7	204.4
12月末	10,272	2.7	207.1
2026年１月末	12,243	22.4	204.0
２月末	10,747	7.5	204.0
３月末	9,375	△ 6.3	204.7
４月末	10,297	3.0	195.3
５月末	9,444	△ 5.6	210.5
６月末	7,990	△20.1	202.5
７月末	10,136	1.4	202.2
(期　末)			
2026年８月21日	9,913	△ 0.9	207.7

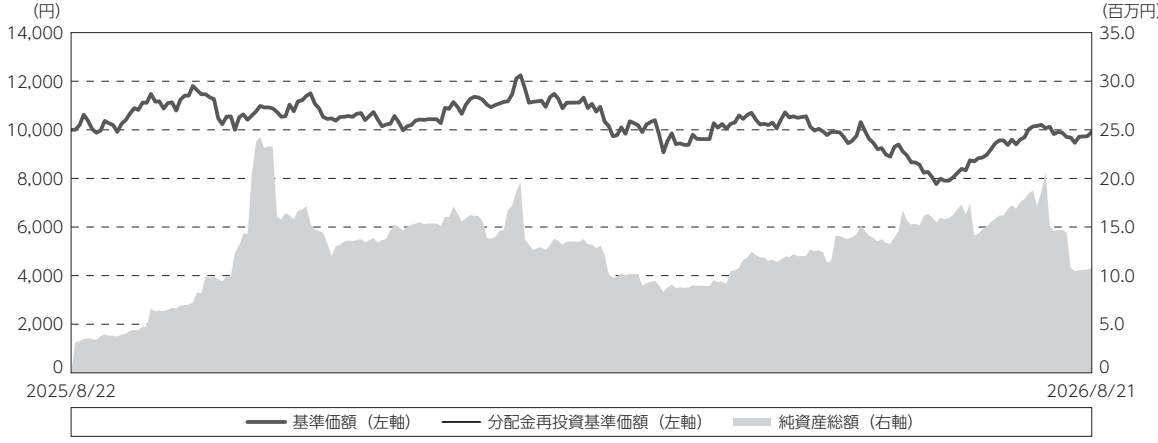
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。
(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。
(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券先物比率」は、実質組入比率を記載しております。
(注) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

〈円コース〉

運用経過

基準価額等の推移について

（2025年8月22日～2026年8月21日）



設　定　日：10,000円
第 1 期 末：　9,913円（既払分配金（税込み）：0円）
騰　落　率：△ 0.9%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などにより課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数先物を買い建てるとともに、為替変動リスクを低減するために為替予約取引等により為替ヘッジを行います。これにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数のリターンの獲得を目指した運用を行った結果、当期の基準価額・分配再投資基準価額は 0.9%下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

投資環境

（2025年8月22日～2026年8月21日）

＜株式市況＞

期中のハンセン指数は小幅に上昇しました。期初から９月にかけては、中国当局による景気刺激策への期待やAI･半導体関連分野の成長期待などを背景に、ハイテク株を中心に上昇しました。10月以降は、米中貿易摩擦への懸念や中国景気の先行き不安、AI・ハイテク関連銘柄への高値警戒感などから調整しました。2026年１月には、中国当局による経済・産業支援への期待などを背景に、AI関連株を中心に大きく上昇しました。その後は、高値警戒感や中東情勢の緊迫化などから３月にかけて下落しました。４月には、中国のGDPが市場予想を上回ったことや、AI・半導体関連分野への成長期待などから反発しました。５月以降は、中国の経済指標の下振れや米国の利上げ観測、半導体関連株の反動安などを背景に再び下落しました。７月には、米国の早期利上げ観測の後退や中国の追加景気支援策への期待などから大きく反発し、その後はレンジ圏で推移しました。

ポートフォリオについて

（2025年8月22日～2026年8月21日）

＜auAMレバレッジ・ハンセン・中国ファンド円コース＞

auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数先物を買い建てるとともに、為替変動リスクを低減するために為替予約取引等により為替ヘッジを行いました。これにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数のリターンの獲得を目指した運用を行いました。

＜auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド＞

株価指数先物取引の買い建玉の時価総額が、原則として純資産総額の２倍程度となるように調整います。為替変動リスクを低減するため為替予約取引等により為替ヘッジを行いました。

ベンチマークとの差異について

（2025年8月22日～2026年8月21日）

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

分配金について

（2025年8月22日～2026年8月21日）

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項　　目	第1期 2025年8月22日～ 2026年8月21日
当期分配金	0
（対基準価額比率）	0.00%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	86

（注）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
（注）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

＜auAMレバレッジ・ハンセン・中国ファンド円コース＞

当ファンドの運用方針に基づき、auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、純資産総額の2倍程度のハンセン指数先物を買い建てるとともに、為替変動リスクを低減するために為替予約取引等により為替ヘッジを行います。これにより、純資産総額の2倍程度のハンセン指数のリターンの獲得を目指します。

＜auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド＞

株価指数先物取引の買い建玉の時価総額が、原則として純資産総額の2倍程度となるように調整します。為替変動リスクを低減するため為替予約取引等により為替ヘッジを行います。

１万口当たりの費用明細

（2025年8月22日～2026年8月21日）

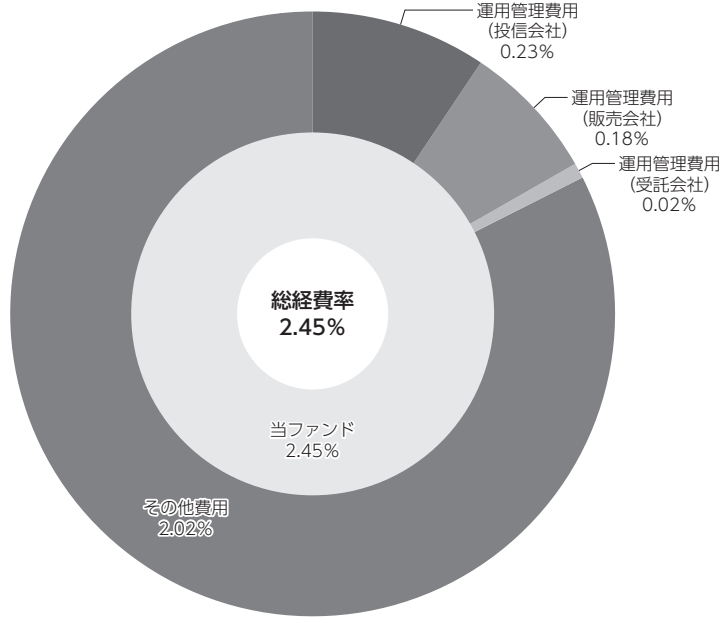
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	44	0.433	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(24)	(0.233)	ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(18)	(0.178)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	19	0.185	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(19)	(0.185)	
(c) その他費用	207	2.020	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(207)	(2.015)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(1)	(0.005)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
合計	271	2.638	
期中の平均基準価額は、10,253円です。			

（注）当期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示しております。

（参考情報）

◯総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１万口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.45％です。



(注) １万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。

○売買及び取引の状況

（2025年８月22日～2026年８月21日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
auAM レバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド	54,880	56,814	44,910	47,141

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2025年８月22日～2026年８月21日）

当期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年８月21日現在）

親投資信託残高

銘柄	当期末	
	口数	評価額
	千口	千円
auAM レバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド	9,970	10,146

（注）単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2026年８月21日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
auAM レバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド	10,146	90.7
コール・ローン等、その他	1,034	9.3
投資信託財産総額	11,181	100.0

（注）金額の単位未満は切捨て。
（注）外貨建て資産は、期首、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。１香港・ドル＝20.29円
（注）auAM レバレッジ・ハンセン・中国マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（1,110千円）の投資信託財産総額（274,151千円）に対する比率は、0.4%です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年８月21日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	11,181,361
コール・ローン等	984,674
auAM レバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド(評価額)	10,146,687
未収入金	50,000
(B) 負債	415,048
未払金	40,000
未払解約金	77,904
未払信託報酬	27,144
その他未払費用	270,000
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	10,766,313
元本	10,861,112
次期繰越損益金	△ 94,799
(D) 受益権総口数	10,861,112口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	9,913円

(注) 設定日における元本額は3,160,701円、期中追加設定元本額は60,529,560円、期中一部解約元本額は52,829,149円です。
(注) 当期末の計算口数当りの純資産額は9,913円です。

○損益の状況 (2025年８月22日～2026年８月21日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	4,047
受取利息	4,047
(B) 有価証券売買損益	389,094
売買益	2,613,512
売買損	△ 2,224,418
(C) 信託報酬等	△ 330,161
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	62,980
(E) 追加信託差損益金	△ 157,779
(配当等相当額)	(2,321)
(売買損益相当額)	(△ 160,100)
(F) 合計(Ｄ＋Ｅ)	△ 94,799
次期繰越損益金(Ｆ)	△ 94,799
追加信託差損益金	△ 157,779
(配当等相当額)	(△ 13,766)
(売買損益相当額)	(△ 144,013)
分配準備積立金	93,479
繰越損益金	△ 30,499

(注) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注) 収益分配金の計算過程は下記「分配金の計算過程」をご参照ください。

分配金の計算過程

項　　目	当　　期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	93,479円
(c) 収益調整金	0円
(d) 分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額 (a＋b＋c＋d)	93,479円
(f) 分配対象額 (１万口当たり)	86.07円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (１万口当たり)	0円

○お知らせ

該当事項はございません。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

収益分配金のお知らせ	
１万口当り分配金	０円

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

〈香港ドルコース〉

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式先物比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率		
（設定日）	円	円	%	%	百万円
2025年８月22日	10,000	－	－	－	7
１期(2026年８月21日)	11,008	0	10.1	206.8	62

（注）設定日の基準価額は、設定時の価額です。また、期中騰落率は、期末の基準価額（税引前分配金含む）を設定日の基準価額で除して算出したものです。
（注）設定日の純資産は、設定元本を表示しております。
（注）株式先物組入比率＝買建比率－売建比率です。
（注）当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券先物比率」は、実質組入比率を記載しております。
（注）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式先物比率
		騰落率	
（設定日）	円	%	%
2025年８月22日	10,000	－	－
８月末	9,800	△ 2.0	200.6
９月末	11,333	13.3	195.5
10月末	11,432	14.3	191.5
11月末	11,292	12.9	203.7
12月末	10,996	10.0	206.0
2026年１月末	12,827	28.3	202.5
２月末	11,453	14.5	203.6
３月末	10,271	2.7	204.7
４月末	11,359	13.6	194.9
５月末	10,396	4.0	209.2
６月末	9,014	△ 9.9	200.0
７月末	11,346	13.5	205.7
（期　末） 2026年８月21日	11,008	10.1	206.8

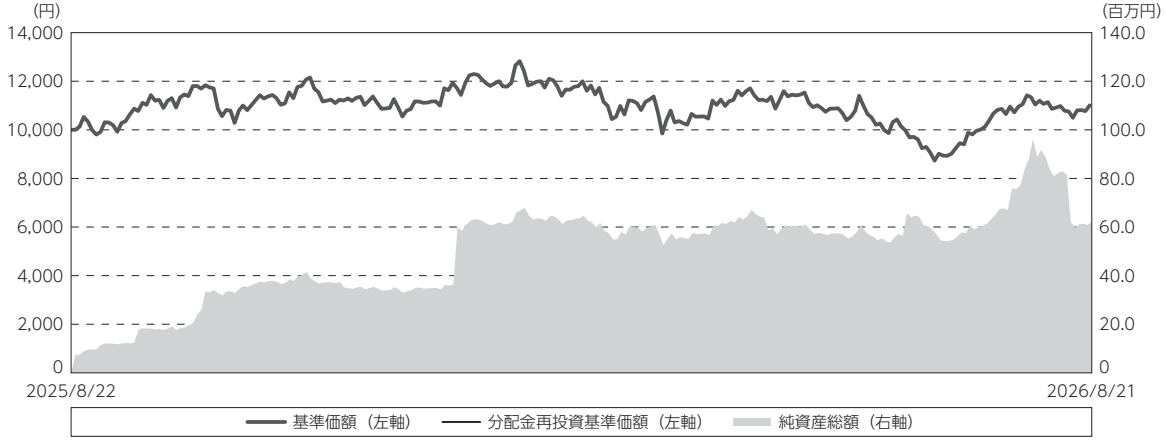
（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。
（注）株式先物比率は買建比率－売建比率です。
（注）当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券先物比率」は、実質組入比率を記載しております。
（注）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

〈香港ドルコース〉

運用経過

基準価額等の推移について

（2025年8月22日～2026年8月21日）



設　定　日：10,000円
第 1 期 末：11,008円（既払分配金（税込み）：0円）
騰　落　率：　10.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などにより課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数先物を買い建てるとともに、為替予約取引等により純資産総額程度の香港ドルを保有します。これにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数のリターンと、純資産総額程度の香港ドル保有に伴うリターンの獲得を目指した運用を行った結果、当期の基準価額・分配再投資基準価額は 10.1%上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

投資環境

（2025年8月22日～2026年8月21日）

＜株式市況＞

期中のハンセン指数は小幅に上昇しました。期初から９月にかけては、中国当局による景気刺激策への期待やAI･半導体関連分野の成長期待などを背景に、ハイテク株を中心に上昇しました。10月以降は、米中貿易摩擦への懸念や中国景気の先行き不安、AI・ハイテク関連銘柄への高値警戒感などから調整しました。2026年１月には、中国当局による経済・産業支援への期待などを背景に、AI関連株を中心に大きく上昇しました。その後は、高値警戒感や中東情勢の緊迫化などから３月にかけて下落しました。４月には、中国のGDPが市場予想を上回ったことや、AI・半導体関連分野への成長期待などから反発しました。５月以降は、中国の経済指標の下振れや米国の利上げ観測、半導体関連株の反動安などを背景に再び下落しました。７月には、米国の早期利上げ観測の後退や中国の追加景気支援策への期待などから大きく反発し、その後はレンジ圏で推移しました。

＜為替市況＞

期中の為替市場では、円安・香港ドル高となりました。

期初から2025年末にかけては、日本の財政拡大への懸念などから円売りが強まり、円安・香港ドル高基調となりました。2026年１月には円安が一段と進んだ後、日米当局によるレートチェックが実施されたとの観測から為替介入への警戒が高まり、円は対香港ドルで急速に上昇しました。２月には、衆議院選挙を巡る思惑などから上下に振れた後、再び円安・香港ドル高となりました。３月以降は、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇を受けたインフレ懸念や米ドルへの資金流入などを背景に、円安圧力が強まりました。４月末には日本当局による円買い介入を受けて円が急速に上昇しましたが、その後は再び円安・香港ドル高が進みました。７月末以降は、日米による協調介入を巡る報道や、米財務省による超長期国債の買い戻し増額の発表などを背景に、円高・香港ドル安となりました。

ポートフォリオについて

（2025年8月22日～2026年8月21日）

＜auAMレバレッジ・ハンセン・中国ファンド香港コース＞

auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数先物を買い建てるとともに、為替予約取引等により純資産総額程度の香港ドルを保有します。これにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数のリターンと、純資産総額程度の香港ドル保有に伴うリターンの獲得を目指した運用を行いました。

＜auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド＞

株価指数先物取引の買い建玉の時価総額が、原則として純資産総額の２倍程度となるように調整います。為替変動リスクを低減するため為替予約取引等により為替ヘッジを行いました。

ベンチマークとの差異について

（2025年8月22日～2026年8月21日）

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

分配金について

（2025年8月22日～2026年8月21日）

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項　　目	第1期 2025年8月22日～ 2026年8月21日
当期分配金	0
（対基準価額比率）	0.00%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,039

（注）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
（注）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

＜auAMレバレッジ・ハンセン・中国ファンド香港コース＞

当ファンドの運用方針に基づき、auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、純資産総額の2倍程度のハンセン指数先物を買い建てるとともに、為替予約取引等により純資産総額程度の香港ドルを保有します。これにより、純資産総額の2倍程度のハンセン指数のリターンと、純資産総額程度の香港ドル保有に伴うリターンの獲得を目指します。

＜auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド＞

株価指数先物取引の買い建玉の時価総額が、原則として純資産総額の2倍程度となるように調整します。為替変動リスクを低減するため為替予約取引等により為替ヘッジを行います。

１万口当たりの費用明細

（2025年8月22日～2026年8月21日）

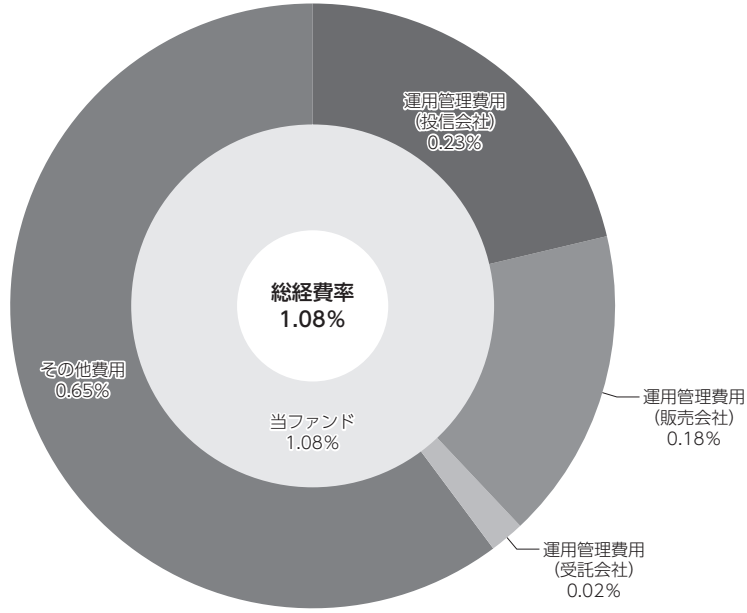
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	48	0.433	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(26)	(0.233)	ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(20)	(0.178)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	21	0.187	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(21)	(0.187)	
(c) その他費用	71	0.649	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.039)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(63)	(0.572)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(4)	(0.038)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
合計	139	1.269	
期中の平均基準価額は、10,986円です。			

(注) 当期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注) 各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
(注) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示しております。

（参考情報）

◯総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１万口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.08％です。



(注) １万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。

○売買及び取引の状況

（2025年８月22日～2026年８月21日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
auAM レバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド	133,935	139,421	76,592	77,043

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2025年８月22日～2026年８月21日）

当期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年８月21日現在）

親投資信託残高

銘柄	当期末	
	口数	評価額
	千口	千円
auAM レバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド	57,343	58,358

（注）単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2026年８月21日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
auAM レバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド	58,358	92.1
コール・ローン等、その他	5,022	7.9
投資信託財産総額	63,381	100.0

（注）金額の単位未満は切捨て。
（注）外貨建て資産は、期首、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。１香港・ドル＝20.29円
（注）auAM レバレッジ・ハンセン・中国マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（1,110千円）の投資信託財産総額（274,151千円）に対する比率は、0.4%です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年８月21日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	132,308,223
コール・ローン等	4,534,925
auAM レバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド(評価額)	58,358,807
未収入金	69,414,491
(B) 負債	70,108,758
未払金	68,996,893
未払解約金	710,575
未払信託報酬	131,290
その他未払費用	270,000
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	62,199,465
元本	56,502,394
次期繰越損益金	5,697,071
(D) 受益権総口数	56,502,394口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	11,008円

(注) 設定日における元本額は7,346,944円、期中追加設定元本額は129,279,126円、期中一部解約元本額は80,123,676円です。
(注) 当期末の計算口数当りの純資産額は11,008円です。

○損益の状況 (2025年８月22日～2026年８月21日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	17,209
受取利息	17,209
(B) 有価証券売買損益	318,396
売買益	10,766,872
売買損	△ 10,448,476
(C) 信託報酬等	△ 526,528
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	△ 190,923
(E) 追加信託差損益金	5,887,994
(配当等相当額)	(12,559)
(売買損益相当額)	(5,875,435)
(F) 合計(Ｄ＋Ｅ)	5,697,071
次期繰越損益金(Ｆ)	5,697,071
追加信託差損益金	5,887,994
(配当等相当額)	(△ 26,910)
(売買損益相当額)	(5,914,904)
繰越損益金	△ 190,923

(注) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注) 収益分配金の計算過程は下記「分配金の計算過程」をご参照ください。

分配金の計算過程

項　　目	当　　期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	0円
(c) 収益調整金	5,872,623円
(d) 分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額 (a＋b＋c＋d)	5,872,623円
(f) 分配対象額 (１万口当たり)	1,039.36円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (１万口当たり)	0円

○お知らせ

該当事項はございません。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

収益分配金のお知らせ	
１万口当り分配金	０円

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンド

運用報告書　第１期（決算日　2026年８月21日）

（作成対象期間　2025年８月20日～2026年８月21日）

auAMレバレッジ・ハンセン・中国マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	純資産総額の２倍程度のハンセン指数先物を買い建てるとともに、為替変動リスクを低減するために為替予約取引等により為替ヘッジを行います。これにより、純資産総額の２倍程度のハンセン指数のリターンの獲得を目指します。
主要投資対象	株価指数先物取引、国内の債券、外国為替取引
株式組入制限	無制限

auアセットマネジメント株式会社
東京都千代田区西神田三丁目２番１号
ホームページ　https://www.kddi-am.com/

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		株式先物比率	純資産総額
		期中騰落率		
(設定日)	円	%	%	百万円
2025年８月20日	10,000	-	-	200
１期(2026年８月21日)	10,177	1.8	220.4	272

(注) 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式先物比率
		騰落率	
(設定日)	円	%	%
2025年８月20日	10,000	-	-
８月末	9,842	△ 1.6	213.4
９月末	11,283	12.8	204.5
10月末	10,904	9.0	197.5
11月末	10,574	5.7	212.6
12月末	10,270	2.7	214.5
2026年１月末	12,309	23.1	209.1
２月末	10,779	7.8	211.3
３月末	9,390	△ 6.1	212.3
４月末	10,394	3.9	201.4
５月末	9,560	△ 4.4	215.2
６月末	8,105	△19.0	206.2
７月末	10,372	3.7	206.1
(期　末) 2026年８月21日	10,177	1.8	220.4

(注) 騰落率は設定日比です。
(注) 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率です。
(注) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

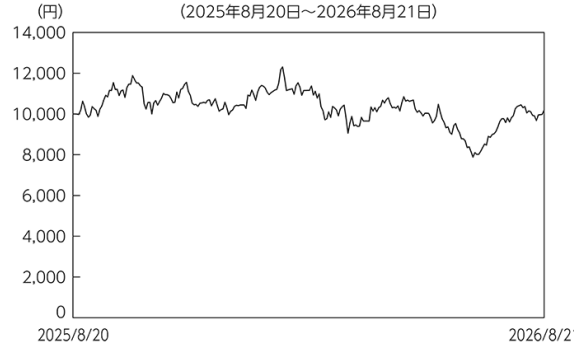
○運用経過

（2025年８月20日～2026年８月21日）

基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円
期末時：10,177円
騰落率：　1.8％



基準価額の主な変動要因

純資産総額の２倍程度のハンセン指数先物を買い建てるとともに、為替変動リスクを低減するために為替予約取引等により為替ヘッジを行うことをめざした運用を行った結果、基準価額・分配金再投資基準価額は1.8％の上昇となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

投資環境について

（第１期：2025年８月20日～2026年８月21日）

＜株式市況＞

期中のハンセン指数は小幅に上昇しました。期初から９月にかけては、中国当局による景気刺激策への期待やAI・半導体関連分野の成長期待などを背景に、ハイテク株を中心に上昇しました。10月以降は、米中貿易摩擦への懸念や中国景気の先行き不安、AI・ハイテク関連銘柄への高値警戒感などから調整しました。2026年１月には、中国当局による経済・産業支援への期待などを背景に、AI関連株を中心に大きく上昇しました。その後は、高値警戒感や中東情勢の緊迫化などから３月にかけて下落しました。４月には、中国のGDPが市場予想を上回ったことや、AI・半導体関連分野への成長期待などから反発しました。５月以降は、中国の経済指標の下振れや米国の利上げ観測、半導体関連株の反動安などを背景に再び下落しました。７月には、米国の早期利上げ観測の後退や中国の追加景気支援策への期待などから大きく反発し、その後はレンジ圏で推移しました。

＜為替市況＞

期中の為替市場では、円安・香港ドル高となりました。

期初から2025年末にかけては、日本の財政拡大への懸念などから円売りが強まり、円安・香港ドル高基調となりました。2026年１月には円安が一段と進んだ後、日米当局によるレートチェックが実施されたとの観測から為替介入への警戒が高まり、円は対香港ドルで急速に上昇しました。２月には、衆議院選挙を巡る思惑などから上下に振れた後、再び円安・香港ドル高となりました。３月以降は、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇を受けたインフレ懸念や米ドルへの資金流入などを背景に、円安圧力が強まりました。４月末には日本当局による円買い介入を受けて円が急速に上昇しましたが、その後は再び円安・香港ドル高が進みました。７月末以降は、日米による協調介入を巡る報道や、米財務省による超長期国債の買い戻し増額の発表などを背景に、円高・香港ドル安となりました。

ポートフォリオについて

株価指数先物取引の買い建玉の時価総額が、原則として純資産総額の２倍程度となるように調整います。為替変動リスクを低減するため為替予約取引等により為替ヘッジを行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

○今後の運用方針

株価指数先物取引の買い建玉の時価総額が、原則として純資産総額の２倍程度となるように調整します。為替変動リスクを低減するため為替予約取引等により為替ヘッジを行います。

○１万口当たりの費用明細

（2025年８月20日～2026年８月21日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 売買委託手数料	19	0.188	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(19)	(0.188)	
(b) 有価証券取引税	－	－	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用	1	0.006	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（その他）	(1)	(0.006)	
合計	20	0.194	
期中の平均基準価額は、10,318円です。			

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「１万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2025年８月20日～2026年８月21日）

先物取引の種類別取引状況

種類別		買建		売建	
		新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
		百万円	百万円	百万円	百万円
外国	株式先物取引	7,419	6,861	－	－

（注）金額は受渡し代金。
（注）単位未満は切捨て。

○先物・オプション取引状況等

（2025年８月20日～2026年８月21日）

先物取引の銘柄別取引状況・残高状況

銘柄別			買建		売建		作成期末評価額		
			新規買付額	決済額	新規売付額	決済額	買建額	売建額	評価損益
			百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
外国	株式	HANG SENG IDX FUT	7,419	6,861	－	－	599	－	10

（注）単位未満は切捨て。

○組入資産の明細

（2026年８月21日現在）

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			当期末	
			買建額	売建額
			百万円	百万円
外国	株式先物取引	HANG SENG IDX FUT	599	－

（注）外貨建の評価額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
（注）評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2026年８月21日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	274,151	100.0
投資信託財産総額	274,151	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。
（注）当期末における外貨建資産（1,110千円）の投資信託財産総額（274,151千円）に対する比率は、0.4%です。
（注）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1香港・ドル＝20.29円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年８月21日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	491,204,470
コール・ローン等	48,585,132
未収入金	229,585,479
差入委託証拠金	213,033,859
(B) 負債	219,152,761
未払金	218,617,761
未払解約金	535,000
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	272,051,709
元本	267,314,037
次期繰越損益金	4,737,672
(D) 受益権総口数	267,314,037口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	10,177円

(注) 設定日における元本額は200,000,000円、期中追加設定元本額は188,816,339円、期中一部解約元本額は121,502,302円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、auAM　レバレッジ・ハンセン・中国ファンド(香港ドルコース)57,343,822円、auAM　レバレッジ・ハンセン・中国ファンド(円コース)9,970,215円、auAM安定ファンドVII(適格機関投資家限定)200,000,000円です。

(注) 当期末の計算口当たりの純資産額は10,177円です。

○損益の状況 (2025年８月20日～2026年８月21日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 799,997
受取利息	789,359
支払利息	△ 1,589,356
(B) 有価証券売買損益	△ 1,707,175
売買益	8,965,612
売買損	△ 10,672,787
(C) 先物取引等損益	2,523,721
取引益	108,752,381
取引損	△ 106,228,660
(D) 保管費用等	△ 15,840
(E) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ)	709
(F) 解約差損益金	△ 2,681,698
(G) 追加信託差損益金	7,418,661
(H) 合計(Ｅ＋Ｆ＋Ｇ)	4,737,672
次期繰越損益金(Ｈ)	4,737,672

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

○お知らせ

該当事項はございません。